

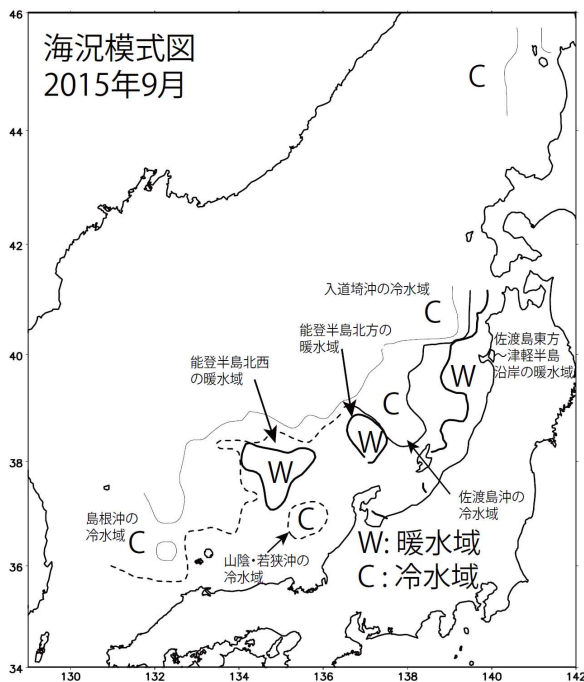


平成27年度 第3回 日本海海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産総合研究センター
日本海区水産研究所がとりまとめた結果 －

今後の見通し(平成27年10月中旬～12月)のポイント

- ・ 対馬暖流域の表面水温は、“やや低め”で経過する。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“やや低め”、北部では“平年並み”で経過する。



2015年10月中旬～12月の海況

- 能登半島北西の暖水域は東へ移動し、能登半島北方の暖水域と合体した後に停滞。
- 佐渡島東方～津軽半島沿岸の暖水域は、勢力を縮小しつつ停滞。
- 島根沖の冷水域の張り出しは、規模はやや大きくやや接岸。
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、平年並み。
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、平年並み。
- 入道崎沖の冷水域の張り出しは規模は、やや大きくやや接岸。

問い合わせ先

国立研究開発法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所業務推進部

担当：檜山、江連

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>

平成27年度 第3回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2015年10月中旬～12月）

- (1) 能登半島北西の暖水域は東へ移動し、能登半島北方の暖水域と合体した後に停滞する。佐渡島東方～津軽半島沿岸の暖水域は、勢力を縮小しつつ停滞する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模はやや大きくやや接岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、平年並みで経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、平年並みで経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はやや大きくやや接岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや低め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“やや低め”、北部では“平年並み”で経過する。

2. 経過（2015年6月～8月）

- (1) 6月に能登半島北西で見られた暖水域は、6月に能登半島西方で見られた暖水域と7月に合体。その後、東進しつつ勢力を縮小し、2015年8月に能登半島北方へ移動。6月に能登半島～津軽半島の岸沿いに分布した暖水域は7月に消滅。6月に佐渡島北西で見られた暖水域は、東進した後、佐渡島北方に移動。8月に能登半島西方に暖水域が出現。
- (2) 島根沖の冷水域は、6月は平年並みの規模でやや接岸、7・8月はやや大きくかなり接岸。山陰・若狭沖の冷水域は、6月は規模・接岸状況とも平年並み、7月はやや大きくかなり接岸、8月は規模・接岸状況とも平年並み。佐渡島沖の冷水域は、6月から8月にかけて、規模・接岸状況とも平年並み。入道埼沖の冷水域は、6月はやや小さくやや離岸、7月は小さく接岸状況は平年並み、8月は大きく接岸状況は平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
6月は、北海道西方で“平年並み”となる以外は、全体的に“かなり高め”～“はなはだ高め”。
7月は、隠岐東方～能登半島北西で“やや低め”～“かなり低め”となる以外は概ね“平年並み”。
8月は、隠岐周辺～能登半島西方にかけて“やや低め”～“かなり低め”、能登半島東方で“やや高め”～“かなり高め”となる以外は概ね“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、6月は日本海西部で“平年並み”、北部で“やや高め”。

3. 現況（2015年9月）

- (1) 暖水域は、能登半島北西、能登半島北方、佐渡島東方～津軽半島沿岸に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、やや大きくやや接岸。山陰・若狭沖の冷水域は、平年並み。佐渡島沖の冷水域は、やや小さく接岸状況は平年並み。入道埼沖の冷水域は、規模は平年並みでやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、能登半島以西で“やや低め”～“はなはだ低め”、佐渡島西方～津軽半島沿岸で“やや低め”以外は概ね“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部及び西部ともに“平年並み”。

(註) 引用符(“ ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| “はなはだ高め(低め)” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ) |
| “かなり高め(低め)” | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ) |
| “やや高め(低め)” | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ) |
| “平年並み” | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産試験場	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 国立研究開発法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所